

8 9 7 - 0 3 9 2

お手数ですが
62円切手をお貼りください

フリガナ
◎ご氏名

年齢 / 歳 性別 / 男・女
広報紙掲載の場合のお名前の表記
本名・匿名・イニシャル

ペンネーム ()

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。
◎ご住所 〒 -

電話 () -

南九州市役所 企画課 行

おたよりまわっています

広報紙を読んだ感想、取り上げてほしい記事、最近笑ったこと、身近な話題などなど、何でもけっこうですので、おたよりをお寄せください。
62円切手を貼ってポストから郵送するか、市役所の各庁舎に設置してある『ご意見箱』へご投函ください。



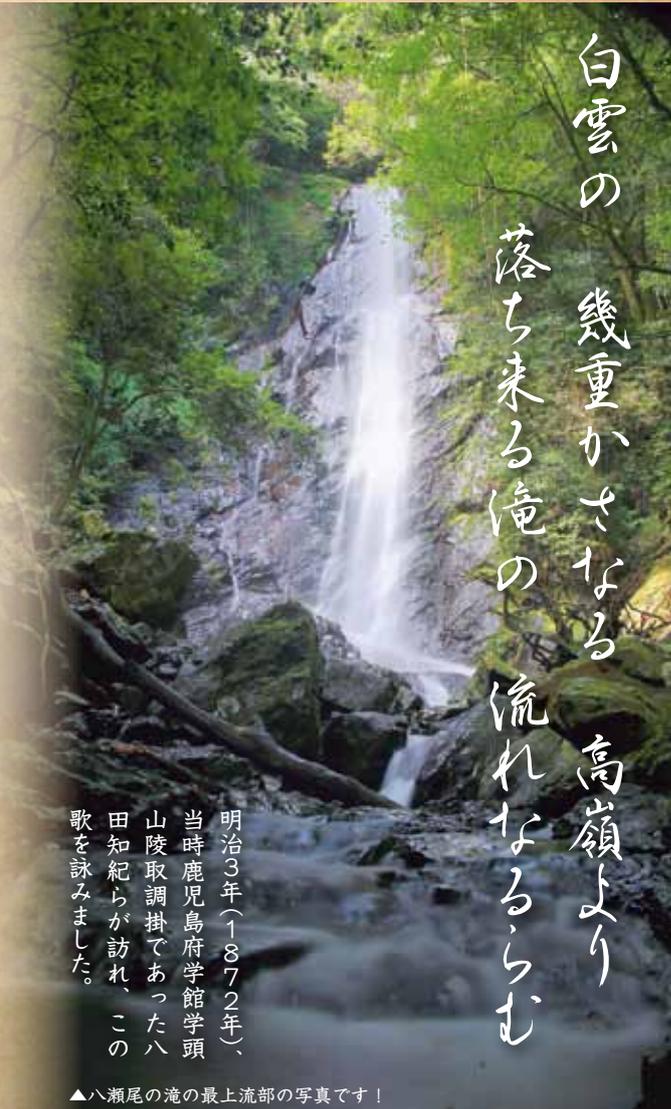
◀点線に沿って切り取ってください。
(官製はがきでも可)

街かど探偵 File.88

～白雲の天空に連なる山中の滝～ 川辺町 野崎川上流にある八瀬尾の滝

滝つぼの横には神社があり、そこを通る険しい足場の登山道を15分程度登ると、川辺育ちの人でもなかなか見たことのない最上流部を見ることが出来ます。八瀬尾の滝は山中の木陰にありますので、暑い夏に訪れるのにはぴったりだと思います。豪快な水しぶきの中、濃度の高いマイナスイオンを全身に感じ、心身ともにリフレッシュができました。7月下旬の様子を撮りましたのでご覧ください。

川辺町野崎を流れる野崎川の上流に八瀬尾の滝があります。八瀬尾の「八」は数が多いことを表しており、道路からは第一の滝と第二の滝が見え、さらに上には多くの瀬や小さな滝があり、最上流部には第一と同じくらいの滝があります。

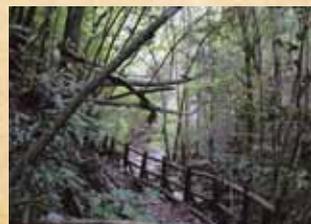


白雲の 幾重かさなる 高嶺より
落ち来る滝の流れなるらむ

明治3年(1872年)、
当時鹿児島府学館学頭
山陵取調掛であった八
田知紀らが訪れ、この
歌を詠みました。



▲第三～七までの滝の一部



▲登山道に設置された柵。
丸太による階段や柵などが整備されていきました。



▲道路から見える第一の滝。
上に第二の滝が少し見えます。左側に登山道があります。

▲八瀬尾の滝の最上流部の写真です！